



涼しさを演出した花の飾り方を学ぶ参加者たち=27日、米子市糀町1丁目の鳥取県西部総合事務所

涼しさを花で演出

米子でフラワーカールビズ教室
花で涼しさを演出する「フラワーカールビズ」

ズ」の教室が27日、米子市糀町1丁目の鳥取県西部総合事務所であり、市民が涼を感じる花の飾り方を学んだ。フラワーカールビズは県西部の花関係者が考案と関係者の意見が一

致。花の生産者や市場販売者、県が推進協議会を設置した。

教室は初のイベントで、米子市内の事業所に勤務する女性ら約20人が参加。米子花商協同組合の小松康人理事長の指導で、水色のハイランドブルーや白いトルコキキョウ、紫のリンドウなど涼しげな色彩の草花10種類をコケにくんだスポンジの玉に刺して完成させた。

同市旗ヶ崎4丁目の会社員、中川翠さん(37)は「バランスを取るのが難しかったけど、われながら涼しそうなお花が飾れました」と話した。

協議会は今後、「フラワーカールビズ」のプレートを添えた花を事業所に置いてもらうなどして普及を図る方針。構成する東亜花卉園芸市場の林原堅二花卉部長は「フラワーカールビズを米子から全国に発信したい」と話している。